

第三者評価の受審実績	平成 18 年度、20 年度、22 年度、24 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■事業所の特色

当法人は 286 床を有する中核的な総合病院を中心に、高齢社会における地域住民のニーズに応えるべく、訪問看護ステーションや老人保健施設、認知症グループホーム等を江東区内に展開するとともに、葛飾区に 40 床の透析ベッドを有するクリニックを運営しています。

平成 17 年に開設した当事業所は、東雲の運河に面して大きな医療機関が立ち並ぶエリアの一画に位置しています。7 階建ての 1 階に認知症対応型グループホームが 2 ユニット、2 階にデイケアと機能回復訓練室、3~6 階が老健の療養室（3 階は認知症専用フロア）、7 階には会議室と多目的室の他、屋上庭園があり、利用者の憩いの場所となっています。

3~6 階には、療養室が 38 室（3 階のみ 36 室）あり、うち 8 室は独立したキッチンと食事スペースを有する生活空間（ユニット）の中に区画されています。日中の時間はユニットごとに担当の職員が 1 名配置され、食事の際にそれぞれのキッチンで炊いたご飯を利用者に提供したり、ユニットの利用者を連れて近隣のショッピングモールに買い物に出掛けるといったきめ細かい支援が行われています。そのため、看・介護職員の人数を厚めに配置している点が当事業所の特徴の一つとなっています。